

4月

●お花見ツアー

施設の近くには、垂井の相川、朝倉公園、米原の三島池と桜の名所が何箇所もあり、入居者・利用者の方と御一緒に花見に出かけます。お茶やおやつを持参しての花見はみなさん楽しみに待たれています。



5月

●こいのぼり見物

毎年、垂井町の相川沿いに何匹もの鯉が空を舞います。入居者・利用者の方と連れ立って見物に出かけます。



●いちご狩り

毎年この時期は、関ヶ原のいちご狩りが最盛期を迎えます。旬のいちごを食べに皆さんと出かけます。甘いいちごをお腹いっぱい食べて頂きます。

6月

●供養祭

ご住職に来苑頂き、当施設に入居・利用されその後ご逝去された方々のご冥福をお祈りします。仏間を開放し、入居者・利用者の方やご家族の方にもご参加頂いています。



社会福祉法人杉和会のホームページはご覧頂いていますか？
毎日の更新を心がけ、日々新しい内容を提供していきます。広報誌と合わせ是非ご活用下さい！！

ホームページアドレス <http://www.sugiwakai.jp>

4 April 卯月(うづき)						
日	月	火	水	木	金	土
		1 エイプリル fools	2	3	4	5 清明
6	7	8 花まつり	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19 土用 発明の日
20 母の日	21	22	23	24	25	26
27	28	29 昭和の日	30			

5 May 皐月(さつき)						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 憲法記念日
4	5 みどりの日	6 こどもの日	7	8	9	10 振替休日
11	12	13	14	15	16	17 沖縄戦没者追悼の日
18	19	20	21	22	23	24 小満
25	26	27	28	29	30	31

6 June 水無月(みなづき)						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 忙種
8	9	10	11	12	13	14 時の記念日
15	16	17	18	19	20	21 父の日
22	23	24	25	26	27	28 夏至
29	30					

毎月の定期的な行事・イベント

<p>バイキング料理 毎月1回</p>	<p>門間 ボランティア 第2日曜日</p>	<p>三味線 ボランティア 第4水曜日</p>
<p>ハーモニカ ボランティア 毎月1回</p>	<p>寿会 ボランティア 第4日曜日</p>	<p>関ヶ原 日赤奉仕団 第2木曜日</p>
<p>フォークソング ボランティア 毎月1回</p>	<p>フットセラピー 毎週火、水曜日</p>	<p>和紙 ちぎり絵教室 毎週水、金曜日</p>
<p>茶道クラブ 毎週木曜日</p>	<p>絵手紙クラブ 毎週土曜日</p>	

*月によっては、日時が変更になる場合がありますので、職員におたずねください。
このほかにも随時、ボランティア活動が行われます。

「きょうも楽しかった」と
言っていただけのように…
草花の芽生え、
鳥たちのさえずり…
あたたかな季節に包まれて

心はずむ、ふくらむ



すべてに優しく
いつまでも悠ある
やすらぎの邑でありたい

2008
春
号
Vol.40

ゆう 2008春号 vol.40
平成20年4月1日発行
発行/社会福祉法人杉和会
特別養護老人ホーム 優・悠・邑
デイサービスセンター えりかの里
〒503-1543 岐阜県不破郡関ヶ原町大字今須782-1
Tel.0584-43-3155 (代) Fax.0584-43-3156
URL <http://www.sugiwakai.jp>
Mail:yu-yu-yu@viola.ocn.ne.jp

優・悠・邑二〇〇八春号

平成20年度がスタートします!

事業開始から10年が経過しようとしている今、思うこと

社会福祉法人 杉和会理事長 若山 宏

今年の5月18日がくると事業開始から10年になります。「お蔭様で」などと軽々しく言えるようなものではなく、10年の重みを噛み締めながら今後の杉和会の方向についても述べて行く事にします。

児童福祉の経験しかなかった私が、特養の経営と運営をする覚悟を決めて、2年間にわたって多くの施設を見学に行き、それなりにハード面の知識を得ましたが、ソフト面については全く自信がないままにスタートを切り、熱い思いで頑張ってきました。その中で、ご縁を戴いた入居さん・利用者さん、そしてその家族や地域の方々に教えて戴くことばかりの10年だったように思います。

そんな10年の中で大きな大きな財産を少なくとも二つは手に入れました。その一つ目は、地域の中で多くの施設のことを理解して戴けたと言うこと。その結果、毎日のようにボランティアの方が来て下さるようになってまいりましたし、先般(3月13日)は、当施設内の会議・研修室で地元の老人

会である上の谷福寿会の会員65名の方が参加されての総会をしていただきました。今後も地元貢献には力をいれて行きたいと考えています。二つ目は、職員の充実です。事業開始当初に職員研修を実施したら、参加者が10人足らずで啞然としたものでした。しかし今では、毎月行う幹部会には9人が、副リーダー会には11名が必ず参加し、全体会(会議あるいは研修)についてはフロアでの見守りの職員以外は参加する体制が整いました。10年の重みを感じながら平成20年度は、職員一人ひとりから積極的に提案をさせ、検証し実践をしていく形の徹底を図って行きたい。そのためには職員一人ひとりのスキルを高める為に積極的施設内外の研修に参加させて行きたい。

優・悠・邑、えりかの里では各種委員会を設置し、入居者・利用者の方のサービス向上、職員の介護能力の向上を目的とした活動を行っています。今回この「春号」にて各委員会より新年度に向けた新たな活動目標を報告してもらいました。

身体拘束対策委員会

施設長 若山 宏

1. ハード面から
 - ① 壁際、窓際の位置にベッドがありませんか。
 - ② ナースコールはいつでも押せるようになっていませんか。
 - ③ 痒いところに手が届くシステムになっていませんか。
 - ④ 安易にセンサーマットを使用しませんが。

拘束になると言う意識を育てる。駄目だと言われるから指示に従っていないと言うのでは、意味がない。

2. ソフト面から

- ① 入居者さん、利用者さんに対して命令口調になっていませんか。
- ② 入居者さん、利用者さん一人ひとりのお世話はケアプラン・家族等からの情報などにもとづいた統一したものになっていますか。

拘束になると言う意識を育てる。駄目だと言われるから指示に従っていないと言うのでは、意味がない。

感染症対策委員会

副施設長 水野貴子

平成20年度は次の点を重点的に取り組みしていきます。

- 《感染源を断つ》
- 施設で生活している入居者・利用者は虚弱な方が多く、

褥せう対策委員会

副施設長 水野貴子

近年、特養も医療ニーズが高く、重度化してベッド上の生活を余儀なくされている入居者が多くなってきたこと、褥創ができてやすい状態の人が多くなっています。自力で体位変換ができず、寝たきり状態の人たちに、個々の状態に合わせたケアの確立が必要になってきます。

個々の状態に合わせて離床を促し四肢のリハビリ・マッサージ等として、時間ごとの体位変換などを行い血液循環を促し、褥創の後発部位の除圧につとめ褥創の予防に努め、必要があります。排泄委員会・食事委員会・入浴委員会との連携を図り褥創は作らない、現在褥創のある人に対しては早期治療をめざして今年を進めていきたいと思います。

職員や外来者、デイサービス・ショートステイ利用者などからの持込により感染し重篤な状態に陥りやすく、また対応の悪さによっては施設内で蔓延してしまう状況があります。当施設は面会者・ボランティアの来所が多いために、そこから感染を防ぐために感染症対策委員会を中心になって取り組んでいく必要があります。職員に感染症の認識を深めるために年2回以上の勉強会を開催し知識を深め、入居者が健康で楽しく生活できるように努めていきます。そのために以下のことを徹底できるように致します。

- ・ 職員の健康管理
- ・ 新規入居者、利用者の健康状態のチェック
- ・ 面会、外来者の感染症のチェック
- ・ 環境整備
- ・ 職員の手洗いの徹底
- ・ 適切な汚物の処理の対応

入浴委員会

CW 堀江忠史

入浴委員会の新年度に向けた目標としては「入居者一人ひとりの方に気持ちよく入浴して頂き、ゆとりある入浴を」ということをテーマにして取り組んでいきます。そのために、入浴中に様々な入浴剤で香り

を楽しんで頂けるようにしていきます。また、入浴剤だけではなく四季の花びらや果実をお湯に浮かべて入居者の方が目で見て楽しめる、鼻でいい匂いと感じて頂けるような環境を作っていくようにしていきます。入居者の方が日々の生活の中で四季を感じる事も、防止にもなるので入浴時にも四季を感じて入浴が有意義な時間になるようにしていきます。

排泄委員会

介護リーダー 伊藤良明

入浴委員会としては入居者の事を一番に考え、職員同士協力・連携し合い、入居者が入浴を楽しみにされるよう取り組んでいきます。

尿意、便意がない方のトイレ介助の時間の見直しをしていきます。排泄といっても食事、睡眠、活動などの生活全体からの取組みが必要です。利用者、入居者様の趣味、好みなどをより多く取り入れて、楽しく、活動ある生活になるよう他の委員会、各フロアと協働しながら進めていきます。相手の気持ちになって今まで以上に羞恥心に配慮をしたケアを心がけていきます。

食事委員会

管理栄養士 若園貴宣

今年度の食事委員の目標は「入居者・利用者の方への個別的な食事サービスの向上」です。その中で、栄養ケアマネジメントが当該施設でも始まりました。これは一人一人の方の身長・体重などの身体状況や、食事の嗜好、食事の摂取量、水分量、口腔内の状況などの日々の生活情報を把握し、その方に適したカロリー量、栄養バランスの良い食事を提供していくものです。個別に栄養状態をみていくと、急激な体重減少、摂取不良や脱水など様々な問題に気付きます。食事委員会では、歯科衛生士の職員も交え、食に関わる問題を共有化し、改善、解決に向けた提案をし

行事委員会

CW 竹腰修久

ていきます。また、日常生活の中での「食事」をいかに楽しんで頂けるかということも考えていきます。旬の食材、季節感を取り入れた毎月のバイキング料理、誕生日にお好きなものをリクエストして頂く誕生日、実際に調理作業を手伝って頂くおやつ作り教室の実施等で食への関心を失わぬような企画の提案も行っていきます。

行事委員会が最も力を入れたいものは2大イベントの1つである『夏祭り』です。夏祭りには毎年地域の中学生をはじめ、地域の方にも参加していただき盛大に行っています。当施設の2大イベントである為よりよいものにしていくたいと思っております。そのために「早期発見」「早い取り組み」を目標にし、企画から準備、当日にいたるまでみなさんに楽しんで頂けるよう取り組んで行きたいと思っております。また現在も、ボランティアの方にも多くのご協力を頂き入居者の方々に喜んで頂いています。今年で施設も10年になります。新しい環境作りとしてボランティアの新規導入も考えています。

リスク検討委員会

委員長 主任生活相談員 吉田 篤

今年度、リスク検討委員会は次のことを目標にしていきたいと考えています。

- 一、事故報告書、ヒヤリハット報告書の分析をしっかりと行い、事故のリスクを減らす。
- 二、利用者様・入居者様から教えていただいた事を、施設内全体で共有化する。
- 三、施設内で使用している介護物品の再見直しを行い、事故のリスクを減らす。

高齢者施設に入居してみえる方は、様々なリスクを抱えてみえます。これら三点を目標とし、職員が黒子のように動く事で、施設内のリスクを少しでも減らせるように努力していきたいと思っております。

思い出 アルバム

Memories

定期ボランティア・イベント紹介
1月～3月の楽しかった出来事を
報告します



バイキング 料理

月に1度、昼食にバイキング料理を提供しています。1月のテーマは「節分」でした。のりと卵の太巻きを用意し、恵方の話題でも盛り上がりました。2月のテーマは「ひなまつり」でした。デザートには桜もち、三色団子、甘酒をご用意し一足早くその雰囲気を感じて頂きました。



獅子舞

元旦に職員が獅子舞に変装し各フロアを練り歩きました。獅子舞の元気な演舞に入居者・利用者の方も大喜びでした。またお屠蘇も振る舞い、新年の幕開けを皆さんでお祝いしました。



和紙 絵画教室

毎週水曜日と金曜日は、本館、新館にて和紙絵画の教室が開かれます。毎回、季節ごとにテーマを決めて作品作りを行っています。完成した作品はフロアで展示し、多くの方にご覧頂いています。



鏡開き



1月11日は鏡開きの日。当施設でも毎年、入居者・利用者の方にぜんざいを食べて頂きます。今年も、年末についた餅を七輪で焼き、皆さんへ提供しました。「おいしいよ」と評判で、中にはおかわりされる方もみえました。



ひな祭り



1月の中頃から本館、新館にてひな人形を飾りました。しばし足を止め、ひな飾りの細部までじっくりご覧になる入居者・利用者の方もみえました。また、当日の昼食にはちらし寿司を提供し、ひな祭りの雰囲気を味わって頂きました。



節分

「福は～内！、鬼は～外！」元気な声が施設内に響き渡りました。職員や入居者・利用者の方が赤鬼、青鬼に扮し、各フロアで豆まきが練り広げられました。おやつには大豆の代わりに卵ボーロを提供し食べて頂きました。





●雪どけも仕事のうち!?

12月、1月とそれほど雪は降らなかったここ関ヶ原ですが、2月は何度となく雪が積りました。真っ白な銀世界の外を眺める入居者・利用者の方の中には「昔はよう雪が降ったよ」「雪どけは大変やわ」と思い出を語られる方もみえました。



●施設慰問に來られました
2月28日、上石津老人会



●門間ボランティア
3月9日、関ヶ原の門間ボランティアの皆さんが来苑され、銭太鼓、カラオケを披露されました。



婦人部総勢14名の皆さんが施設を慰問にみえました。施設長からのお話の後、施設内をご案内しました。また、施設へタオルなどをご寄贈頂きました。ありがとうございました。

●上の谷老人会

3月13日、関ヶ原上の谷老人会「福寿会」の総会があり、当施設の会議室にて行われ、総勢67名の方が出席されました。



特に銭太鼓は小気味の良いいリズムと演者の方たちの統一ある動きに皆さん見入っておられました。

●ベルチャイム・折り紙チャイム

3月27日、岐阜聖徳学園短期大学の学生さんが、ベルチャイムの演奏と折り紙ボランティアを行うため施設を訪れました。ベル



チャイムの演奏では軽やかなベルの音色に皆さん静かに聞き入っていました。

△ご寄付・奇贈品

ありがとうございます

- ・杉山康夫様(安藤房子様ご家族)
- ・渡部三枝様ご家族様
- ・門間ボランティア様…千支の壁掛け



- ・今西浪夫様ご家族様…お菓子
- ・上石津老人会婦人部…タオルなど

・加藤みつ様ご家族様…花

●当施設に入居され、後にご逝去されたご家族の方よりお手紙を頂きました。誌上ににて御紹介させていただきます。

3月に入り気温も一気に上がり、やっと春の訪れを感じられるようになりました。皆様にはお変わりなく日々のお仕事に専念していらっしゃる事と存じます。母の百々日の供養も終わり一区切りいたしました。脳梗塞で倒れてからちょうど7年目の日で感慨深い思いがあります。以後病院での大変な日々が続きました。後こちらの施設で6年半の間お世話になりました。感謝しております。初めてこちらの施設に伺った時、不登でいつはいいの私を察する方のように施設長さんと副施設長さんが親身に話を聞いてくださいました。介護というのは自身が直面して初めて知ることが多いものです。認知症が出始めてからの数年間の葛藤の後の闘病生活で看病疲れと先の見えない不登で押しつぶされそうだった時のお二人の言葉がどれほど私の心を救ってくれたか今でもはっきりと覚えています。施設での生活が始まってからは面会の時様々な会の席、い

つも母はとておだやかな表情でニコニコしていました。そんな母に会えることは私にとってもとてもうれしくほっとする時でした。孫のような若い職員の方にお世話を頂いてとても幸せだったと思います。皆さんお仕事とはいい良しと下さるといっても感謝していました。本当は私がやるべき事をやって頂いて申し訳ない思いでもありました。最後は突然すぎてある程度の覚悟はしていましたが想像以上に寂しくはらはらは落ち着かない日々を過ごしました。でも家族が心から母との別れを悼み送る事ができた事はとても幸せでした。母にとつてあれ以上の最後はなかったと思います。きつと母が本当に心暖かに日々を送っていたからだと改めてお世話いただいた皆様へ感謝の気持ちでいつはいいです。

今考えると母にとつても私にとつてもこの7年間はこんなにいい別れを向かえられるために必要な時間であったときつと



編集後記

冬の寒さも終わりを告げ、暖かな春がやってきました。この広報誌が皆さんの手元に届く頃には、桜の開花の便りも届いていることでしょう。そこで、桜に関するうんちく話を一つ。桜の開花情報で「満開」を判断する基準、皆さんは御存知でしょうか？実は開花情報で言う「満開」とは実際の開花状況の「8分咲き」を示すそうです。なぜかというのと全ての花が同日、同時に咲きそろうことはありません。咲く花もあれば、もちろん散る花もあるため、そのバランスを考えると「8分咲き」の頃を「満開」とした方が最も美しい桜を鑑賞できるといいうのが理由だそうです。

春の陽気に誘われ入居者・利用者の方の外出する機会も増えていきそうです。背表紙のゆうカレンダーでも紹介していますが、昨年は桜の花見、こいのぼり見学、いちご狩り、買い物ツアーなど企画し、多くの方に楽しんで頂きました。太陽の明るい日差しの下を歩くだけで何かわくわくする気持ち、これはいくつになっても変わらないものなのではないでしょうか。今年もそんな思いを1人でも多くの方に感じて頂きたい、職員一同思うっています。次号広報誌には、そんな外出風景のご報告もしていきます。